

令和8年度新規・拡充事業について

オンライン居場所づくり 1,489千円

(ひきこもり等支援事業 令和8年度事業費 16,106千円)

所属：福祉局 北部福祉相談支援課
南部福祉相談支援課

事業の内容

【背景・目的】

対面でのコミュニケーションや外出が難しく支援へのアクセス機会が少ないひきこもり状態等の方に対して、自宅からでも他者との交流や情報収集が可能な場を提供することで、本人の孤立感緩和や対面型居場所・相談窓口への移行に資することを目的とする。

【事業概要】

外出することが難しいひきこもり状態等で生きづらさを抱える方が、安心して気軽に参加できるインターネットを活用したオンライン居場所を作り、参加者の孤立緩和や対面での支援への移行、支援に繋がる情報アクセスの確保を目指した支援を提供する。

評価指標

【アウトカム(成果指標)】 孤立感の緩和を実感した人の割合

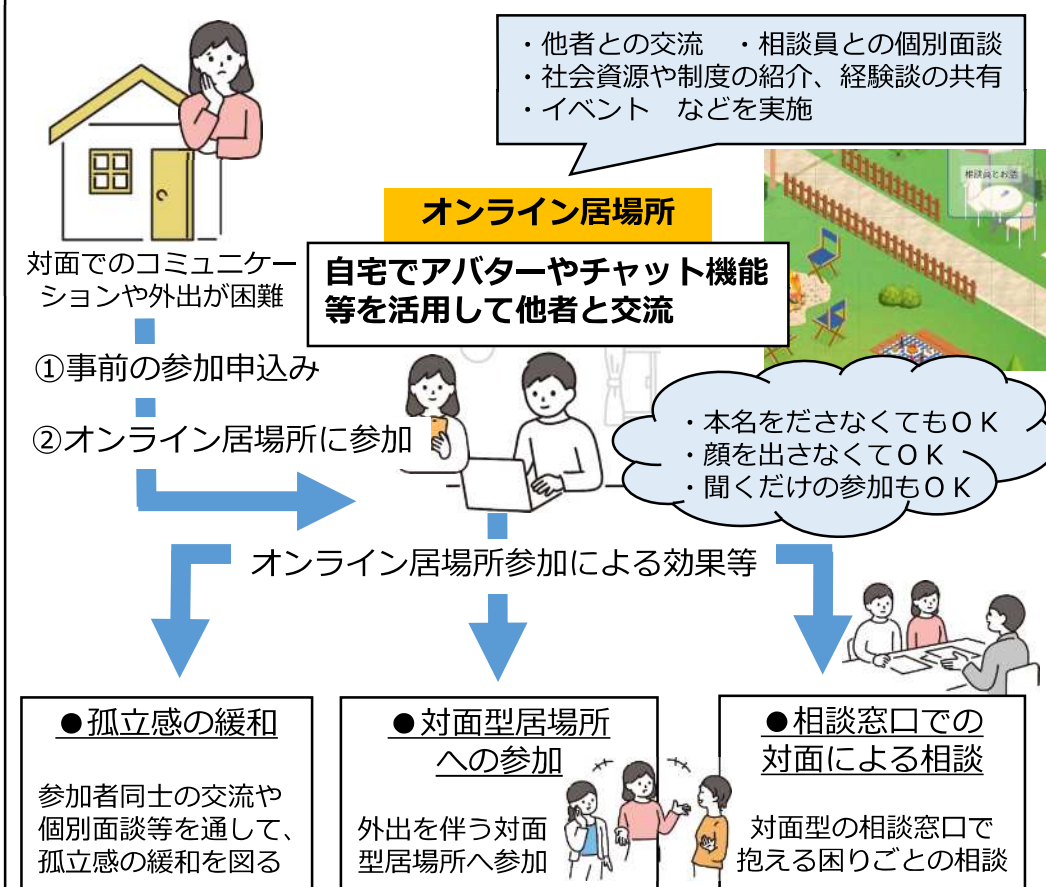
【単位】 % 【R10目標値】 80

【アウトプット(活動指標)】 オンライン居場所参加者数 (延べ人数)

【単位】 人 【R10目標値】 144

参加者に対して他者との交流や相談員との個別面談の機会等を提供し、参加者の孤立感の緩和を図る。

事業イメージ



医療的ケア児とその家族への在宅レスパイト支援の実施 13,544千円

No.32

(医療的ケア児在宅レスパイト事業 令和8年度事業費 13,544千円)

所属：福祉局 障害福祉政策担当

事業の内容

【背景・目的】

「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」に定める医療的ケア児（18歳未満の者及び18歳以上の者であって高等学校等に在籍するもの。以下「医療的ケア児」という。）を介護する家族に対し、負担軽減・レスパイト等を図る。

【事業概要】

医療的ケア児を介護する家族の休息等のため、対象者に医療保険による訪問看護派遣の上限時間を超えて派遣を行った場合にその相当額を市が負担する。

評価指標

【アウトカム(成果指標)】 当該事業の利用対象者の満足度

【単位】 % 【R10目標値】 100

【アウトプット(活動指標)】 制度の利用実績

【単位】 時間 【R10目標値】 1,440

(事業効果)

医療的ケア児の家族の負担軽減・レスパイト

(事業成果)

医療的ケア児を介護する家族等の負担を軽減し、医療的ケア児及びその家族の福祉の向上を図る。

事業イメージ

医療的ケア児の一日の流れ(例)

	平日	休日
6:00	吸引	吸引
7:00	起床	起床
8:00	経管栄養①、薬、吸引	経管栄養①、薬、吸引
9:00		
10:00	経管栄養②、吸引	経管栄養②、吸引
11:00	保育園 or 児童発達支援	
12:00		
13:00		
14:00	経管栄養③、吸引	経管栄養③、吸引
15:00		
16:00		
17:00	経管栄養④、薬、吸引	経管栄養④、薬、吸引
18:00	訪問看護or居宅介護	
19:00	入浴	入浴
20:00	就寝	就寝
21:00	経管栄養⑤、吸引	経管栄養⑤、吸引
22:00		
23:00	吸引	吸引

日々のケア以外にも、体調がいつ急変しないか心配で短い時間でも目が離せない・・・

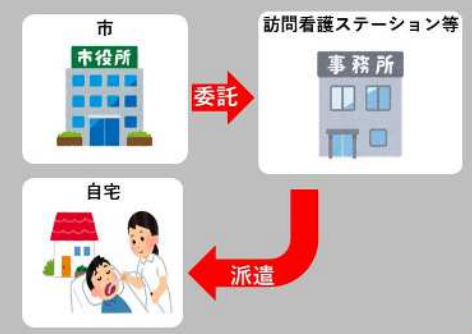
ちょっとまとまった買い物に行きたい・・・

ゆっくり寝たい・・・

一人でボーっとする時間が欲しい・・・

さようだい児の学校行事に参加したい・・・

医療的ケア児在宅レスパイト事業



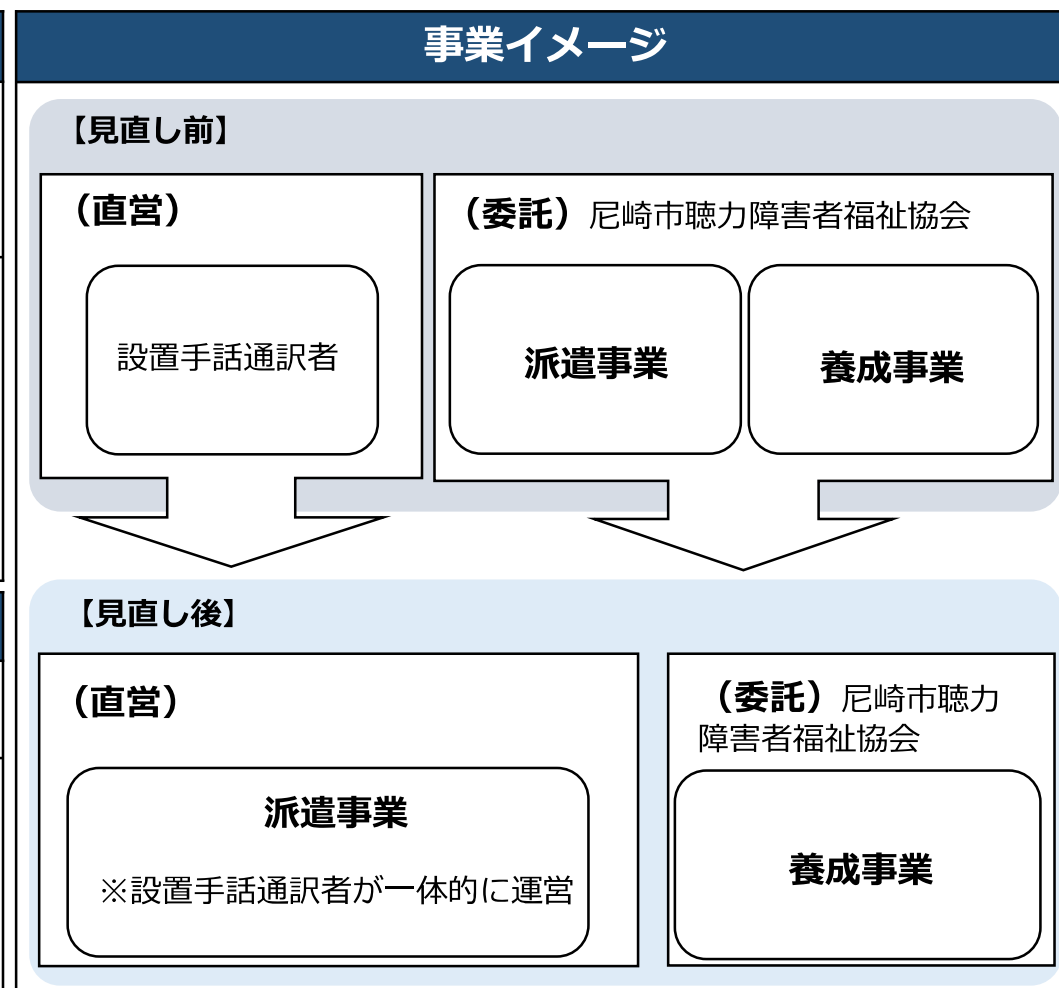
手話通訳者等派遣事業の見直し

▲1,190千円

No.33

所属：福祉局 障害福祉課

事業の内容
<p>【背景・目的】 聴覚障害者への手話通訳者等の派遣及び手話通訳者等の養成を図ることにより、聴覚障害者が社会生活を送る上で円滑な意思疎通を図り、聴覚障害者の福祉の増進を図る。</p>
<p>【事業概要】 聴覚障害者が、社会生活上必要不可欠な時に、手話通訳者等を派遣するとともに、その手話通訳者等を養成する。</p>
<p>【改善内容】 尼崎市聴力障害者福祉協会に委託している手話通訳者等派遣事業を直営化し、市の設置手話通訳者が一体的に業務を行う。なお、養成講座については、令和9年度からの講座内容充実に向けて、引き続き、協議・検討を行っていく。</p>
効果額
<p>▲1,190千円（うちR8効果額 ▲1,190千円）</p>
<p>派遣事業を直営化することにより、様々な状況において、迅速な対応が可能となる。また、派遣事業を設置手話通訳者が一体的に運営することで、手話通訳等を必要とする聴覚障害者一人ひとりのニーズに対し、きめ細かな対応が可能となる。</p>



総合老人福祉センター移転建替えの実施

※債務負担行為(令和9年度まで)30,281千円

No.34

(高齢者支援施設整備事業 令和8年度事業費 0千円)

所属：福祉局 高齢介護課

事業の内容

【背景・目的】

高齢者の社会参加や生きがいづくりに資する事業を実施する総合老人福祉センターについて、老朽化に伴う北難波保育所跡地への移転建替えを行うとともに、高齢者の社会参加促進の活動拠点として、その機能を充実させる。

【事業概要】

既存の健康増進講座や教養学習講座等の事業に加え、高齢者の多様な働き方の提案や既存の地域活動への参加、新たな活動団体の立上げなど、高齢者のニーズに合わせた支援を行うとともに、地域と連携したイベント開催など、地域交流にも視点を置いた施設運営を目指す。(令和8年度は施設の設計を実施)

評価指標

【アウトカム(成果指標)】 -

【単位】 - 【R10目標値】 -

【アウトプット(活動指標)】 -

【単位】 - 【R10目標値】 -

新施設を整備するための設計業務を主とした事業であるため、評価指標の設定は行わない。

事業イメージ

(移転後の事業イメージ)

高齢者のためのワンストップ窓口



各種教室



就労支援

就労相談



はたらくラボ
体験会



地域活動支援

地域活動
事例紹介



地域交流イベント
の充実



多様な働き方
を提案

一般就労

ハローワークや
経済部局と連携
した職業紹介

シルバー人材セ
ンター
訪問型支え合い
活動等

はたらくラボ等で
の生きがい就労

就労的活動

働く以外の
選択肢も提案

趣味の追求やボラ
ンティア活動等

個人の状態に合わせた選択

令和8～9年度
(2026～2027)

○設計

令和10～11年度
(2028～2029)

○工事

令和12年度
(2030)

○供用開始